

令和3年度 社会福祉法人広川町社会福祉協議会 事業報告

【総 括】

急速に進行する少子高齢化や人口減少、地域住民のつながりの希薄化による支え合いの仕組みの脆弱化など地域社会が大きく変化する中、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響も重なり、地域活動の休止や経済的困窮が表面化するなど、地域生活課題は、益々複雑化・複合化しております。

本会は、このような地域生活課題を積極的に捉え、多様な主体による地域福祉活動を推進していくことが極めて重要であると認識し、広川町地域福祉計画・広川町地域福祉活動計画を行動指針とした、令和3年度本会事業計画に基づき、「ふくしのまちづくり」の実現に向け、事業に取り組んでまいりました。

①地域包括ケアシステムの構築・地域共生社会の実現に向けた取り組みといたしましては、「買い物支援」「地域の寄り合い活動」等の推進について、地域や町協議体等において協議を重ね、行政と企業の協定締結に基づく「移動店舗販売」の実施、介護予防サポーターとの協働による地域での介護予防活動「地域通いの場」や「サロン活動」の実施など、住民主体の地域福祉活動の充実につながっています。

②生活困窮者支援、権利擁護の取り組みといたしましては、生活福祉資金貸付事業を柱とした生活困窮に関する相談支援、緊急的な食料支援、判断能力が不十分な人の暮らしを支援する日常生活自立支援事業に取り組みました。とりわけ、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少や失業等の理由で、生計の維持が困難になった世帯に対し、一時的な生活資金の貸付を行う「生活福祉資金特例貸付」の相談及び申請窓口として、昨年度に引き続き、その体制を強化し対応してきたところです。

③在宅福祉サービス事業につきましては、安定的且つ質の高い在宅福祉サービスの提供体制の構築を目指し、町受託事業である介護予防事業と合わせて、総合的な在宅福祉サービスの提供体制づくり、地域に根差した介護サービスの創造に取り組んでまいりました。福祉全般を担う本会において、特に、高齢者等の在宅での暮らしを総合的に支援する介護事業に取り組む意味は大きく、引き続き、在宅福祉サービスの充実に取り組んでまいりたいと考えております。

④災害支援等に関する取り組みといたしましては、コロナ禍においても、多様な主体との連携・協働に基づき、迅速かつ円滑に災害ボランティアセンターの運営等に取り組むことができるよう、災害ボランティア団体・個人のオンライン事前登録を開始し、コロナ禍における災害ボランティア活動の体制基盤強化に取り組みました。

本会におきましては、今後とも、引き続き、広川町の更なる福祉の充実・発展のため、多様化する福祉ニーズ、その他あらゆる地域生活課題、役割を積極的に捉え専門性を持って対応し、福祉サービスの創造、事業推進に努めてまいります。

【実施事業の内容】

1. 法人運営事業

(1) 役員会等の開催

社会福祉協議会の基本的性格としての、非営利性、公共性を重視し、役員及び評議員と連携し、組織体制の強化に取り組みました。

①理事会

回	開催日	議事
第1回	令和3年 6月15日（火） ※書面による決議	提案事項1 欠員による社会福祉法人広川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について 提案事項2 社会福祉法人広川町社会福祉協議会次期評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について 提案事項3 社会福祉法人広川町社会福祉協議会次期評議員候補者の推薦（案）及び決議の省略の方法による評議員選任・解任委員会の開催について 提案事項4 令和2年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について 提案事項5 決議の省略の方法による社会福祉法人広川町社会福祉協議会評議員会の開催について
第2回	6月23日（水）	議案第1号 社会福祉法人広川町社会福祉協議会会长、副会長の選定について
第3回	令和4年 3月4日（金） ※書面による決議	提案事項1 社会福祉法人指導監査の結果について 提案事項2 令和4年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会事業計画（案）について 提案事項3 令和4年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会会計予算（案）について 提案事項4 社会福祉法人広川町社会福祉協議会評議員会の開催について
第4回	令和4年 3月24日（木） ※書面による決議	提案事項1 社会福祉法人広川町社会福祉協議会職員給与規程の改正について 提案事項2 令和4年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会会計予算（案）について

②評議員会

回	開催日	議事
第1回	令和3年 6月23日（水） ※書面による決議	提案事項1 社会福祉法人広川町社会福祉協議会次期役員の選任（案）について 提案事項2 令和2年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について

第2回	令和4年 3月25日（金） ※書面による決議	提案事項1 令和4年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会 事業計画（案）について
		提案事項2 令和4年度社会福祉法人広川町社会福祉協議会 会計予算（案）について

③監査、検査

回	開催日	内 容
第1回	令和3年4月8日（木）	令和2年10月～12月分検査
第2回	令和3年6月1日（火）	令和3年1月～3月分検査、令和3年度決算監査
第3回	令和3年10月22日（金）	令和3年4月～6月分検査
第4回	令和3年12月8日（水）	令和3年7月～9月分検査
第5回	令和4年2月9日（水）	令和3年10月～12月分検査

④評議員選任・解任委員会

回	開催日	議 事
第1回	令和3年 6月22日（火） ※書面による決議	提案事項1 社会福祉法人広川町社会福祉協議会次期評議員 の選任（案）について

（2）社会福祉法人の公益的取り組みの推進

社会福祉法人の公益的取り組みとして、複雑化・複合化する地域生活課題の解決に向けて、社会福祉法人が連携して、その課題解決に取り組む体制づくりを進めてまいりました。

また、福岡県内の社会福祉法人が連携・協働した生活困窮者等支援「ふくおかライフレスキュー事業」に参加し、制度の狭間にある地域生活課題の解決に向けて取り組みました。

■広川町社会福祉法人連絡会

回	開催日	協議事項
第1回	令和3年 11月26日（金）	①各法人における公益的取り組み等に関する情報交換 ②広川町社会福祉法人連絡会の方向性について



広川町社会福祉法人連絡会

2. 地域福祉事業

誰もが安心して暮らすことができる「ふくしのまちづくり」を基本理念とし、住民とともに行政等関係機関と連携を図りながら、地域福祉活動の推進、充実に取り組みました。

(1) 地域福祉活動計画に基づく地域福祉の推進

広川町の第2期地域福祉計画と連携する第2期広川町地域福祉活動計画に基づき、広川町における効果的な地域福祉の推進に取り組みました。

(2) 地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現に向けた取り組み

①生活支援コーディネーター設置事業、介護予防・地域支え合い事業（町受託）

介護予防や生活支援に取り組む様々な主体との連携・協働による支援体制の構築を進めるため、生活支援コーディネーターを設置し、広川町高齢者等生活支援体制整備協議会等への参画を柱に、地域資源の把握やニーズ分析を行い、高齢者等の介護予防・生活支援の基盤整備に取り組みました。

令和3年度は、多様な主体との協働による「買い物支援」、介護予防サポーターと地域との協働による介護予防活動「地域通いの場」、生活支援ボランティアとの協働による「くらしのサポーター『くらサポ』」など、住民主体の地域福祉活動の推進に取り組みました。

■移動店舗販売実施地域（令和4年3月31日現在）

上広川（8）	逆瀬谷、鬼ノ渕、馬場、内田、一応、吉常、長延上、長延下
中広川（10）	太原、清楽、清楽茶屋、高間、増永、太田、吉里、長徳、緑ヶ丘、北新代
下広川（4）	牟礼、当条、智徳、藤田
計	22 行政区 28 箇所

（協力事業所）エフコープ生活協同組合、移動スーパーとくし丸

■介護予防活動「地域通いの場」

上広川（1）	長延上下
中広川（1）	久泉
下広川（3）	当条、一條（新）、藤田
計	5 箇所

■くらしのサポーター『くらサポ』

相談件数	11 件
活動（支援）件数	81 件
利用登録者数	5 名
登録サポーター数	15 名

②認知症施策総合推進事業（町受託）

認知症の人とその家族等が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民や様々な専門機関と連携した支援体制づくりに取り組みました。

認知症理解の普及啓発	10 回	広川中学校、中広川小学校、上広川小学校、民児協、通いの場、JA 女性部、牟礼区、扇島サロン、長延サロン 他
延相談件数	67 件	



買い物支援「移動店舗販売」



介護予防活動「地域通いの場」



認知症キッズサポーター養成講座



くらしのサポーター「くらサポ」

(3) 高齢者福祉の推進

①高齢者いきいきサロン支援事業（町受託）

住民主体の寄り合い活動であるサロン活動を支援し、地域の居場所づくり、住民同士のつながりづくりの推進に取り組みました。

■ サロン活動実施地域（令和4年3月31日現在）

上広川（8）	逆瀬谷、鬼ノ渕、馬場、内田、一応、六田、吉常、長延上下
中広川（13）	太原、久泉、扇島、吉里、川瀬、長徳、古賀、川瀬北、緑ヶ丘、北新代、清楽茶屋、太田、増永
下広川（1）	智徳
合 計	22 サロン

②ふれあいきいきサロン・地域通いの場助成事業

高齢者等の閉じこもり予防や地域のつながりづくりを目的としたサロン活動、高齢者の転倒予防や筋力低下を予防することを目的とした通いの場の運営、立ち上げ等にかかる経費に対し、財政支援を行い、更なる活動の充実に取り組みました。

助成金種別	助成額	備 考
サロン活動運営費助成	706,500 円	逆瀬谷、鬼ノ渕、馬場、内田、一応、長延上下、太原、清楽茶屋、久泉、増永、扇島、太田、吉里、川瀬、長徳、古賀、智徳 計 17 地区
通いの場運営費助成	250,500 円	長延上下、久泉、当条、一條、藤田 計 5 地区
通いの場新規立ち上げ時助成	50,000 円	一條
合 計	1,007,000 円	

③ひとり暮らし高齢者のつどいの開催（第40回）

ひとり暮らし高齢者の孤立予防を目的とした、「ひとり暮らし高齢者のつどい」を開催しています。

※昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止いたしました。

④合同金婚式の開催（第42回）

結婚50周年を迎えたご夫妻をお祝いするため、「合同金婚式」を開催いたしました。

開催日時	開催会場	参加人数
令和3年 11月12日（金）	料亭 扇屋（広川町太田）	45組 ※令和2年度、3年度対象者合同



サロン活動



合同金婚式

（4）当事者課題への支援

①家族介護教室及び家族介護者交流事業（町受託）

介護当事者グループと協働し、介護教室や介護者同士の交流会・情報交換会を行い、介護を一人で抱え込まない支援体制づくりに取り組みました。

■家族介護教室

開催日	開催内容	参加人数
令和3年 12月8日（水）	知っ得！みんなのくらし講座①『知って得する！！家族介護編 食欲低下時の対応のコツ』 講師：九州大谷短期大学 福祉学科教授 塚本真由美 氏 専攻科福祉専攻教授 森永牧子 氏	9名
令和3年 12月24日（金）	知っ得！みんなのくらし講座②『知って得する！！介護予防編 タオル体操・ボディパーカッション』 講師：九州大谷短期大学 専攻科福祉専攻教授 森永牧子 氏 幼児教育学科教授 山田俊之 氏	7名

会場：広川町保健・福祉センターはなやぎの里 3階 多目的ホール

■家族介護者交流事業

介護者カフェの開催

※認知症カフェ運営事業と一体的に実施いたしました。

介護者のつどいの開催

在宅で介護をしている人が、日々の介護から少し離れ、交流を通して心身共にリフレッシュできる場として、「介護者のつどい」を開催しています。

※昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止いたしました。

■広川町社協だよりの紙面を活用した普及啓発事業

- ・広川町社協だより 9月号「シリーズみんなの介護①よりよい介護を続けるために」全戸配布
- ・広川町社協だより 12月号「知っ得！！みんなのくらし講座を開催します」全戸配布
- ・広川町社協だより 3月号「シリーズみんなの介護②知って得する！介護の工夫」全戸配布

②認知症カフェ運営事業（町受託）

認知症の人やその家族、福祉や医療の専門職、地域住民などが、気軽に集える場として「なのはなカフェ」を開催しました。参加者同士の情報交換や専門職への相談等を通して、認知症の人やその家族が暮らしやすい地域づくりに取り組みました。

「なのはなカフェ」の開催

開催回数	9回
延参加人数	33人

③母子・父子世帯親子招待会の開催

ひとり親家庭の孤立予防と、親子の思い出づくりを目的に、「母子・父子世帯親子招待会」を開催しています。

※昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止いたしました。

④車椅子貸与事業

日常生活で、一時的に車椅子を必要とする方に、介護負担・経済的負担の軽減を目的に、車椅子の無償貸与を行いました。

車椅子台数	11台
貸与件数	53件



家族介護教室

(5) 福祉教育・福祉学習の推進

■福祉教育教材『ともに生きる』の配布、活用

福岡県社会福祉協議会が作成した福祉教育教材『ともに生きる』を町内の小学校に配布し、福祉教育・福祉学習の推進に取り組みました。

配布対象者	上広川小学校・下広川小学校 5年生 中広川小学校 4年生
配布数	195 冊（上広川小学校 47 冊、中広川小学校 109 冊、下広川小学校 39 冊）

(6) 愛のネットワーク活動助成事業

民生委員児童委員の地域福祉活動に対して助成金を交付し、地域の支え合い活動の推進に取り組みました。

(7) 相談・支援事業

①広川町高齢者心配ごと相談事業（町受託）

日常生活上のあらゆる相談に応じ、内容に応じた福祉サービスの案内・紹介、関係機関へのつなぎ等を行い、心配ごとの早期対応に取り組みました。

開催日数	19 日	毎月隔週水曜日（9：00～15：00）
相談件数	7 件	相談内容：生計 1、住宅 1、家族 2、人権・法律 1、財産 1、その他 1

②生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支援し、地域での生活と社会参加を図ることを目的とした貸付制度の相談窓口として、他機関と連携した支援に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和 2 年 3 月 23 日より受付が開始された「生活福祉資金特例貸付」の相談窓口として、体制を強化し相談支援に取り組みました。

通常貸付

借受件数	6 件	緊急小口 2 件、教育支援 4 件
------	-----	-------------------

特例貸付（令和 2 年 3 月 23 日～令和 4 年 3 月 31 日期実績）

申請受付件数	591 件	緊急小口 231 件、総合 191 件、延長 85 件、再貸付 84 件
申請者（世帯）数	236 件	
総申請額	241,890,000 円	

③日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどで、判断能力が不十分なため、日常生活でお困りの人が地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理の支援に取り組みました。

新規契約者	2 人
支援者数	8 人

④生活困窮者緊急食料支援事業

生活資金に困窮し食料支援が必要な人、生活福祉資金特例貸付相談者、ひとり親世帯、地域食堂実施地域等への食料支援・提供を行いました。

また、備蓄食料はフードバンクくるめ、株式会社セブン＆アイホールディングス、JA直売所よらん野、一般寄付など様々な団体や企業、地域の皆さんにご協力いただき、安定的な供給体制の構築に取り組みました。

個人（世帯）食料支援件数	163 件	
団体等食料提供回数	24 回	広川町母子寡婦福祉会 20 回、久泉ふれあいの広場 4 回
食料協力実績	113 件	一般 53 件、フードバンクくるめ 11 件、(株)セブンイレブン・ジャパン 2 件、JA直売所よらん野 47 件



食料等支援（セブン・イレブンジャパン様）



食料等支援（JA直売所よらん野様）

3. 在宅福祉サービス事業

住民の在宅生活を支えるため、在宅福祉サービスの提供に取り組みました。また、関係機関と連携し、サービス調整を図りながら、総合的なケア体制の充実に取り組みました。

(1) 介護保険事業

①居宅介護支援（ケアマネジメント）事業

介護保険法に基づき、ケアマネジャーによる介護相談、ケアプランの作成、適切な在宅福祉サービスの利用支援、各種在宅福祉サービスの申請代行等に取り組みました。

事業種別	延利用者数	前年度比
介護予防	47 人	12 人
介護保険	794 人	△19 人
合 計	841 人	△7 人

②訪問介護（ホームヘルプ）事業

介護保険法に基づき、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問し、身体介護、家事支援、生活等に関する相談、その他日常生活上の必要な支援に取り組みました。

事業種別	延利用者数	前年度比
介護予防	113 人	4 人
介護保険	93 人	△5 人
合 計	206 人	△1 人

③通所介護（デイサービス）事業

介護保険法に基づき、デイサービスにおいて、日常生活上の支援や生活機能訓練などをを行い、利用者の心身機能の維持向上と、家族介護者の支援に取り組みました。

事業種別	延利用者数	前年度比
介護予防	273人	△39人
介護保険	4,057人	△116人
合計	4,330人	△155人

（2）障害者総合支援事業

①居宅介護（ホームヘルプ）事業

障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービスの支給決定を受けた障がい児・者に対し、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問し、身体介護、家事支援、生活等に関する相談、その他日常生活上の必要な支援に取り組みました。

延利用者数	前年度比
36人	△13人

（3）町受託事業

①広川町介護予防教室いきいき元気教室事業

健康体操や認知症予防の脳トレ習得、レクリエーションを楽しみながら行う通所型の介護予防教室を実施し、高齢者の閉じこもり予防、生きがいづくりに取り組みました。

延利用者数	前年度比
4,369人	898人

②広川町生活管理指導員派遣（ホームヘルプ）事業

在宅での家事等が一時的に困難な人に対し、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問し、日常生活の支援に取り組みました。

延利用者数	前年度比
201人	△70人

③広川町在宅介護支援センター運営事業

在宅で介護が必要な人、ひとり暮らしや認知症等で暮らしに不安がある人、またその家族からの介護相談に応じ、福祉サービスの紹介、関係機関へのつなぎ、各種福祉サービスの申請代行等の支援に取り組みました。また、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の実態把握のため訪問を行い、高齢者の生活課題の早期発見・早期対応に取り組みました。

相談実件数	172件
実態把握件数	401件

④広川町介護予防事業等アセスメント事業

広川町が実施する介護予防事業等の利用申請者において、各事業の要綱に規定する対象者として決定するための聞き取り調査（事前評価：アセスメント）を実施いたしました。

延実施者数	備 考
24 人	いきいき 17 人、生活管理 5 人、その他 2

4. 指定管理経営事業

広川町保健・福祉センターはなやぎの里の指定管理者として、施設・機能の充実による利用の促進を図るとともに、適正な管理・経営に努めました。

①広川町保健・福祉センター管理・経営事業

■利用実績（休憩室・入浴・健康器具利用者、貸出部屋利用件数）

利用種別	利用者数	前年度比	備 考
休憩室・入浴・健康器具	5,564 人	△6 人	町内 5,185 人、町外 379 人
貸出部屋	856 件	108 件	

5. ボランティア活動促進事業

広川町における総合的なボランティア活動の推進を目的に、広川町ボランティア活動センターの運営、災害ボランティアに関する事業等に取り組みました。

（1）ボランティア活動センター事業

ボランティア活動の推進拠点である、ボランティア活動センター「よかよか」の運営を柱に、ボランティア活動の育成、ボランティア活動の普及啓発、ボランティアコーディネーションに取り組みました。

■ボランティア活動センター運営実績

開館日数		242 日
ボランティア団体登録数		29 団体
個人ボランティア登録数		17 人
目的型ボランティア 登録数	くらしのサポーター「くらサポ」	15 人
	災害ボランティア	個人：14 人、団体：2 団体
利用者数（来館者数）		663 人
ボランティアコーディネート件数		2 件
相談件数		75 件

■ボランティア保険等加入実績

ボランティア保険	93 件	活動保険 48 件、行事用保険 41 件、福祉サービス総合補償 2 件、送迎サービス補償 2 件
----------	------	--

■ボランティア活動の普及啓発等に関するこ

- ・『広報ひろかわ』紙面によるボランティア出前講座の実施（6回）
- ・町「子どもの遊び場実行委員会」への参画とボランティア団体「遊び場サポータークラブ」の活動支援
- ・くらしのサポーター『くらサポ』の活動支援
- ・災害ボランティア事前登録の開始
- ・「ともに生きる力を育む」福祉教育の実施（上広川小学校、中広川小学校）



災害ボランティア事前登録（写真：八女 JC 様）



福祉教育（車いす体験）

（2）高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

シニア世代が健康で生きがいを持ち、豊かな経験や知識・技術を活かして積極的に社会参加できる環境づくりを目的とした研修等を開催いたしました。

開催日	開催内容	参加人数
令和 3 年 10月 6 日（水）	物の捨て方・活かし方～人を家に呼びたくなる片付け講座～ 講師：暮らし美人化計画ハウスキーピング San 代表・整理収納コンサルタント 里館友子 氏	30 人
10月 20 日（水）	睡眠の質を高めるリラックスヨガとアロマ 講師：Ototsumugi 株式会社 代表・健康運動指導士 倉地摩紀子 氏	39 人
11月 24 日（水）	シニア向けはじめてのスマホ講座～スマホでひろがるコミュニケーション！スマホでかわる日常の生活～	11 人
令和 4 年 1月 26 日（水）	講師：ドコモショップ八女店主任 大石 珠美 氏 ドコモショップ八女店店長 田中 史一 氏 ドコモショップ八女店 武藤 郁美 氏	12 人
2月 18 日（金）		13 人

会場：広川町保健・福祉センターはなやぎの里 3階 多目的ホール



物の捨て方・活かし方講座



シニア向けスマホ講座

（3）災害ボランティアセンターに関するここと

コロナ禍における災害支援等に関する取り組みとして、多様な主体との連携・協働による、迅速かつ円滑な災害ボランティアセンター運営等に取り組むことができるよう、災害ボランティア団体・個人のオンライン事前登録を開始し、災害ボランティア活動の体制基盤強化に取り組みました。

また、筑後ブロック圏域における災害時社協間連携の強化等を目的とした災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施について、関係社協間ににおいて協議を行いました。

6. 福祉関係団体支援事業

福祉関係団体と連携を図りながら、よりよい「ふくしのまちづくり」を目指して、福祉関係団体の活動支援、協働体制づくりに取り組みました。

■ 支援団体の概要

団体名	委員数・会員数	備 考
広川町民生委員児童委員協議会	40 名	
広川町老人クラブ連合会	2,064 名	28 クラブ
広川町身体障害者福祉協会	97 名	
広川町遺族会	183 名	
広川町心身障害者（児）父母の会	12 会員家族	
広川町母子寡婦福祉会	40 名	

7. 広報・啓発活動事業

地域福祉の情報が効果的に得られるよう、広報誌やホームページ、福祉イベントへの参加など、様々な手段を用いて広報の充実に取り組みました。

方 法	内 容
『広川町社協だより』	6月、9月、12月、3月の年4回発行（全戸配布）
『広報ひろかわ』	寄付等報告、各種事業・企画の開催案内 など
社協ホームページ	新着情報、各種事業の概要、各種申請書など URL hirokawashakyou.jp
SNS (facebook)	新着情報、地域活動の紹介 など URL facebook.com/hirokawashakyou.fukuoka/
広報テープ貸与	朗読ボランティア広川テープの会及び個人ボランティアの協力により、『広報ひろかわ』『社協だより』『議会だより』を音訳・録音し、視覚障がいのある人への貸出を実施